

アフターサービスについて

KOSHIN 保証書

レシートまたは販売証明書とともに保管してください

機種	乾電池噴霧器 DK-7D / DK-10D	消毒名人	※お買い上げ日	年	月	日
保証期間	お買い上げより1年間		※	住所	〒	
お客様	※お名前	〒	販売店	氏名	電話 ()	
	※ご住所					

※に記入のない場合は無効になりますので必ずご確認ください。

この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて、下記記載内容で無料修理をお約束するものです。保証期間経過後の修理等について、ご不明の場合は、下記の製品の修理受付へお問い合わせください。

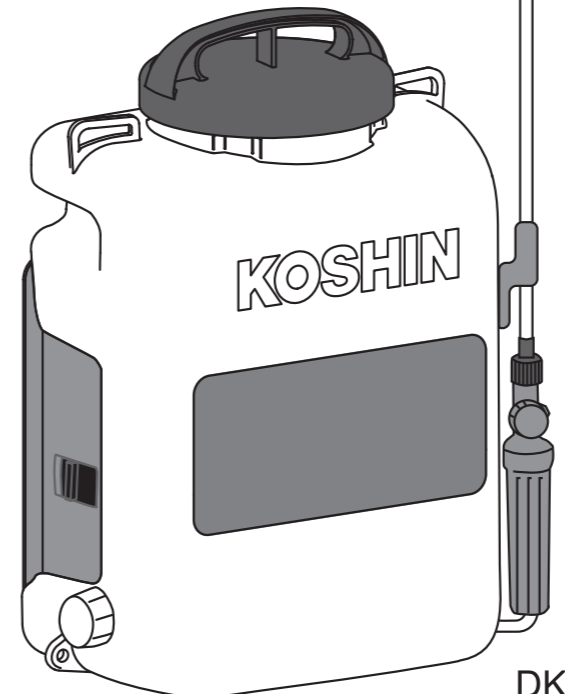
保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本記載内容に基づき無料修理いたします。お買い上げ日から保証期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、下記の製品の修理受付へお問い合わせください。

- 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
 - 〈イ〉使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - 〈ロ〉お買い上げ後の落下、運送等による故障または損傷。
 - 〈ハ〉火災・地震・水害・落雷・その他天災地変、公害等による故障または損傷。
 - 〈ニ〉家庭園芸用以外（例えば業務用等）に使用された場合の故障または損傷。
 - 〈ホ〉本書のご提示がない場合。
 - 〈ヘ〉本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 〈ト〉消耗品は有料修理となります。（ポンプクミ・Oリング・各種パッキン）
 - 〈チ〉車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障または損傷。
- 商品を使用できなかったことによる不便さおよび損失等は負担いたしません。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- この商品は持込修理に限らせていただきます。出張修理はいたしません。
- 本書は日本国内についてのみ有効です。

株式会社 **工進**
京都府長岡京市神足上八ノ坪12

这个文件只用于内容确认，不能用于印刷。
印刷是请一定使用AI文件。
このデータは内容確認用であり、印刷に使用するデータではありません。
印刷は必ずAIデータを使用してください。
This data is for sure the contents, not the data be used for printing.
When you make a print, please use the AI data always.

乾電池別売
この商品には
単一形乾電池6本が必要です



DK-10D

- このたびは、当社製品消毒名人をお買い上げ頂き誠に有難うございます。本製品は、園芸用・農業用薬剤の散布又は散水を目的とした製品です。
- この取扱説明書には、正しく安全にご使用いただくための注意事項が記載されています。ご使用になる前に必ず本書をお読みになり、使用方法をご理解ください。（誤った使用方法は、事故・ケガの原因となります。）
- 取扱説明書は、何時でも見られるように大切に保管ください。

KOSHIN 消毒名人 乾電池噴霧器 DK-7D / 10D 取扱説明書

目次	
ドリフト（飛散）対策のご案内	2
安全上のご注意	4
各部の名称と仕様	7
ご使用になる前に	8
使用方法	12
使用後の注意	14
保守・点検	15
パーツのご注文は	17
故障と処置	18
アフターサービスについて	20
保証書	20

お問い合わせは・・・

お問い合わせの際は、**型式**※、お買い上げ年月日、故障状況などをお知らせください。

※ **型式** について
本体または梱包箱への貼付ラベルに記載しています。



- **製品・パーツの販売**についてのお問い合わせは
購入店またはお近くの弊社製品お取扱店にご相談ください。
- **製品の修理（見積もり含む）**のお問い合わせは
電話 **0120-987-386** 平日：9:00～17:00
会社休業日・土日祝祭日を除く。受付時間に変更がある場合は、弊社ホームページにてご案内します。
- **製品の取扱方法**についてのお問い合わせは
Eメール **pump@koshin-ltd.co.jp** Eメール用二次元コード
電話 **0120-075-540** 平日：9:00～17:00
会社休業日・土日祝祭日を除く。受付時間に変更がある場合は、弊社ホームページにてご案内します。

株式会社 **工進** 〒617-8511 京都府長岡京市神足上八ノ坪12
http://www.koshin-ltd.co.jp

改良のため、予告なく仕様を変更する場合がございます。

※保証書を大切に保管ください

株式会社 **工進**

20-08 045340705

もっと安全・安心に

(飛散)

ドリフトの少ない農薬散布を!

食品衛生法が改正され、農薬残留基準にポジティブリスト制度が導入されました。今まで残留農薬基準値が決められていなかった農薬に、0.01ppmという一律の厳しい基準が設けられ、この定められた基準を超えて農薬が残留する食品は、出荷停止・販売禁止・回収等の対応が求められるようになりました。

農薬の適正使用はもちろんのこと、散布する薬剤が周りの圃場にドリフト(飛散)しないよう、これまで以上に気をつける必要があるとともに、地域一体となった取り組みが大切となります。

ポジティブリスト制度とは

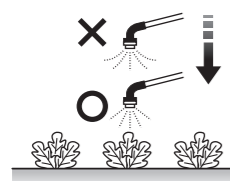
食品衛生法に基づく残留基準値が設定されていない農薬等が一定量以上含まれる食品の販売等を原則として禁止する制度です。一定量とは人の健康を損なう恐れのない量として厚生労働大臣が定める量」として、原則0.01ppmとなっています。(いわゆる一律基準) 平成18年5月29日より施行
※詳しくは厚生労働省のHP等をご参照ください。

散布しようとする作物以外に農薬がドリフト(飛散)しないよう散布時には細心の注意を払いましょう。



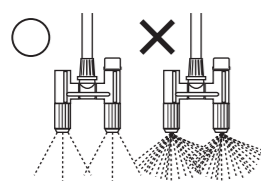
風の弱い時に風向きに注意して散布しましょう。

農薬ドリフトの最大要因は風です。風のない日や風の弱い時に散布しましょう。散布中は常に風の状況を把握して注意することが必要です。



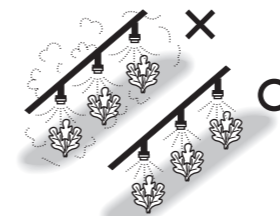
方向や位置に注意して散布しましょう。

出来るだけ作物の近くから作物だけに散布するよう心掛けます。特に圃場の端部では外側から内側に向けて散布する等、特に注意が必要です。



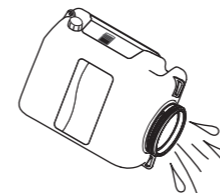
適正なノズル・圧力で散布しましょう。

細かい散布粒子のノズルを使用するほど、また 散布圧力を高めるほどドリフトしやすくなります。必要以上の圧力で散布しないよう注意が必要です。又、ドリフトの少ないノズルに取り替えることも効果的です。



適正な量を散布しましょう。

必要最小限の量と区域で散布を行い、無駄な散布をしないように心掛けます。散布量が多くなるとドリフトする割合も大きくなります。



薬剤タンクやホースは洗い残しがないよう十分に洗浄を行い、洗浄水は適切に処分しましょう。

薬剤タンクやホースに使用した農薬が残っていると、次の散布時に作物に薬害が生じたり、収穫物に農薬が残留してしまう等、思わぬ事態に繋がる恐れがあります。

地域一体となった取り組みが大切です。



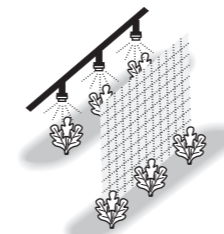
周りの作物にも登録のある農薬を使用しましょう。

より多くの作物に適用があり、収穫近くまで使える様な農薬を選定する事で、飛散した場合のリスクを低減する事が出来ます。



決められた農薬の使用法を守りましょう。

使用前には農薬の使用法を確認し、散布出来る作物や使用量、濃度、使用時期、総使用回数を必ず守って使しましょう。また、圃場ごとに使用した農薬や作業内容を必ず記録しておきましょう。



境界区域では農薬散布を控え、周りの作物をネットやシートなどで遮断したり一時的に覆いましょう。

周りの圃場で収穫直前の作物がある場合は、散布日や収穫日を変更する等の調整をしましょう。

次の場合は特に注意が必要です。

- ◇圃場同士の距離が近い時
- ◇隣の食物作物の収穫が近づいてきた時
- ◇飛散が起こりやすい散布方法・条件の時

農薬散布することを周りの生産者に伝え、日頃からコミュニケーションをとるなど、地域の農業従事者同士の連絡を密にしておくことが重要です。

イラストはイメージです。

安全上のご注意

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。

ここに示した注意事項は製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人へ危険や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は次のように区分しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危険や損害の程度を次の表示で「危険」「警告」「注意」に区分し、説明しています。

いづれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険 人が死亡または、重傷などを負う可能性が高いと考えられる内容です。



警告 人が死亡または、重傷などを負う可能性が想定される内容です。



注意 人が損傷を負う可能性及び物的損傷の発生が想定される内容です。


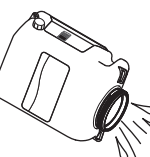
この記号はしてはいけない「禁止」の内容です。

この記号は必ず守っていただく「実行」の内容です。

危険




  使用する薬剤については、薬剤の取扱説明書を十分にお読みの上、正しく使用してください。

  安全の為、作業中は保護マスク、保護メガネ、保護衣、作業帽、不浸透性の手袋、作業靴を着用してください。

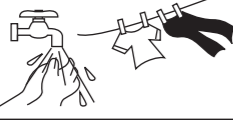
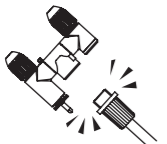

  薬剤を変える時は、必ず前の液を完全に抜いてから、新しい液を入れください。薬剤が混ざると、化学変化をおこす恐れがあり危険です。

安全上のご注意

警告

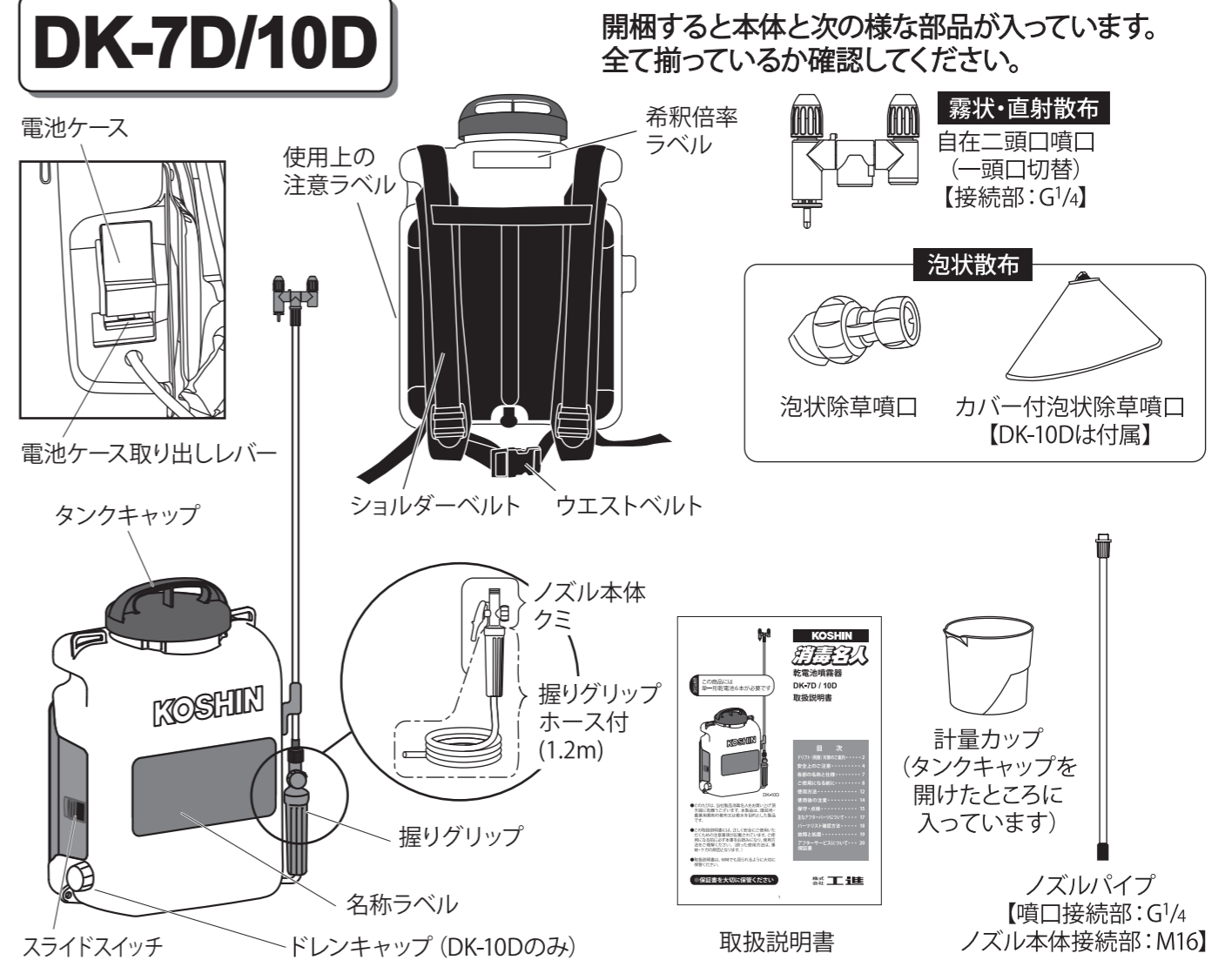
 分解禁止		改造・分解は絶対にしないでください。 故障や異常動作を引き起こし、けがの原因となります。
		防除・除草用の農園芸用薬品の散布・散水用途以外には使用しないでください。
		薬品は、誤使用の危険がありますので、絶対に別の容器に移し替えないでください。 薬品の空容器は、散布液調合時には必ずよく洗い、薬品メーカーの指示に従って、その都度正しく処分してください。
		タンク内に薬液を入れたまま保管しないでください。 使用後は、タンク内の薬液を抜いてからよく洗浄し、子供の手の届かない場所であって、かつ直射日光の当たらない場所に保管してください。 本機の故障の原因になるばかりでなく、事故を引き起こす恐れがあります。
		薬剤が人体、家畜にかからない様に、また、川、池、沼などを汚染しない様に風向き周囲の状況を十分に確認の上、使用してください。
		作業する前に、必要な点検を必ず行ってください。 ホースの接続部はしっかり締まっているか。ホースに破れや穴はないか。 薬液タンクのキャップはしっかり締まっているか、等の点検を忘れないでください。点検をおこたると、薬液が漏れて思わぬ事故につながります。
		薬剤を使用する時は本機の取扱説明書に記載されている主要薬品適合一覧表を確認の上、使用してください。 強酸性・強アルカリ性の液体、ベンジン・ガソリン等の可燃性の液体、溶剤等は絶対に使用しないでください。爆発する恐れがあります。
		幼児・子供が触れないよう、安全な場所で使用してください。 ケガの原因となります。
		少しでも体調が悪くなった時はすぐに医師の診断を受けてください。
		薬剤が人体にかかった時は、薬剤の取扱説明書に従い適切な処置を行ってください。

安全上のご注意

⚠️ 注意	
❗ 必ず守る	 <p>作業終了後は器具や着衣類を全てよく洗い、作業者も入浴するか、手、足、顔等を石けんでよく洗い、うがいをしてください。健康を害する恐れがあります。</p>
❗ 必ず守る	 <p>動かなくなったり、異常がある場合は事故防止のため、直ちにご使用を中断して、本取扱説明書裏表紙の製品の修理受付へお問い合わせください。 そのまま使用されますと、感電や漏電・ショートによる火災や液漏れする恐れがあります。</p>
❗ 必ず守る	 <p>散布状態が悪化した場合など噴口部を清掃する場合は、顔面に薬液がかかる恐れがありますので、必ずスライドスイッチと握りグリップを停止状態とし、噴口部を取り外して清掃してください。</p>
❗ 必ず守る	 <p>調合が適切でない薬液は、作物を傷めるだけでなく人体にも有害になる恐れがあります。薬液の調合の際は、薬剤の使用上の注意をよく読み、正しく希釈してから使用してください。故障の原因になります。</p>
禁止	 <p>安全性を損なう恐れがありますので、40℃以上の温水、発熱性の薬品は使用しないでください。</p>
❗ 必ず守る	 <p>薬剤は必ず調合してからタンクに入れてください。</p>
禁止	 <p>飲酒時、過労ぎみ、病気や妊娠している時は、作業をしないでください。 このような時に作業を行うと、誤操作などで思わぬ事故を引き起こします。作業する時は、必ず心身とも健康な状態で行ってください。</p>
❗ 必ず守る	 <p>人に本機を貸す時は、取り扱い方法をよく説明し、使用前にこの取扱説明書をよく読むように指導してください。 借りた人が本機を誤った使い方をして、思わぬけがなどをすることがあります。</p>
禁止	 <p>炎天下で長時間作業しないでください。作業は、風の強くない、朝夕の涼しい時間を選んでください。</p>

各部の名称と仕様

DK-7D/10D



開梱すると本体と次の様な部品が入っています。全て揃っているか確認してください。

機種	DK-7D			DK-10D		
タンク容量	7L			10L		
作業時間目安	約4時間(アルカリ乾電池使用時)					
噴口	自在二頭口噴口時		泡状除草噴口時	自在二頭口噴口時		カバー付泡状除草噴口時
噴霧量	一頭口噴口時	二頭口噴口時	0.55L/分	一頭口噴口時	二頭口噴口時	0.55L/分
	0.45L/分	0.68L/分		0.45L/分	0.68L/分	
噴霧圧力	0.26MPa	0.16MPa	0.22MPa	0.26MPa	0.16MPa	0.22MPa
噴霧可能量目安	100L	160L	130L	100L	160L	130L
乾電池	単一形乾電池 6本(電池別売)					
製品重量	本体:3.0kg(本体+アルカリ電池6本の場合:3.9kg)			本体:3.3kg(本体+アルカリ電池6本の場合:4.2kg)		
寸法(幅×奥行×高さ)	310mm×170mm×410mm			310mm×210mm×420mm		

※1:上記の値は、7.2V時の当社テスト値であり保証値ではありません。吐出量、作業時間は使用環境によって変化します。
※2:環境温度や、乾電池の温度が高いときは電池容量が少なくなり、作業時間が短くなります。マンガン電池は約半分になります。

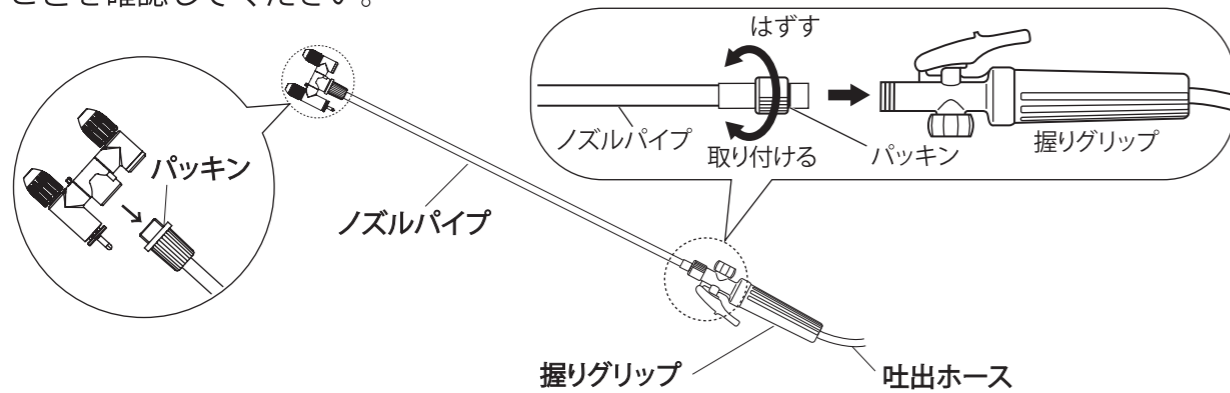
ご使用になる前に

1 確認事項

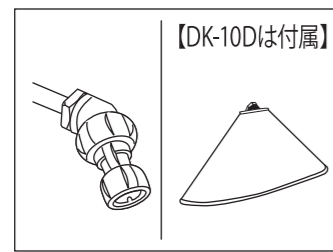
同梱されている部品が全て揃っているか確認してください。
 (「各部の名称と仕様(標準付属品)」(P.7)参照)
 タンク内、及びポンプ内に少量の水が残っている場合がありますが、
 これは検査時のものであり使用上に問題ありませんのでご了承ください。

2 組み立て

1. 握りグリップにノズルパイプを取り付けます。ノズルパイプ端面にパッキンが付いていることを確認してください。



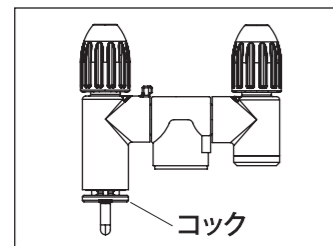
2. ノズルパイプの先端に下記の噴口から必要なものを選んで取付けます。



泡状散布

泡状除草噴口 (DK-10Dはカバー付泡状除草噴口も付属)

- 少量・通常散布用
- 葉・茎から吸収させ、植物全体を枯らす 茎葉吸収移行型の除草剤に使用します。
- 風の影響を受けにくく、薬剤の飛散を防止できます。



霧状・直射散布

自在二頭口噴口 (一頭口切替)

※コックをとじると二頭口 → 一頭口へ切替できます。

- 通常噴霧散布用または、直射散布
- 薬剤を噴霧状態で均一に散布できます。
- 直射状態では部分的に遠方まで散布できます。

⚠ 注意 各接続部にはパッキンが付いています。必ずパッキンがあることを確認してください。
 また、液漏れがない様にしっかりと締め付けてください。

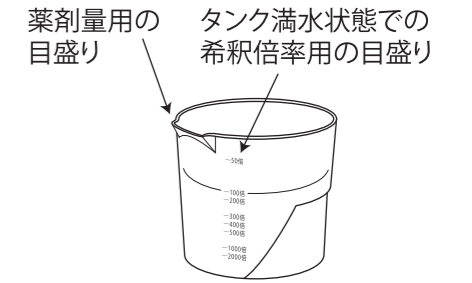
⚠ 注意 吐出ホースに亀裂、破損がないことを確認してください。

ご使用になる前に

3 薬液について

1. 薬剤を希釈する

- タンクキャップを外し、ストレーナーの中に収納されている計量カップを取り出してください。
- 計量カップにはタンク満水状態での希釈倍率が表示されています。
 目的の希釈倍率まで薬剤を入れて希釈してください。
- 少量の薬液を作る時は、薬剤量用の目盛りと下記の希釈倍率早見表をご利用ください。



〈イラストは10L用〉
 ※計量カップはタンク容量によって異なります。

〈希釈倍率早見表〉

	希 釈 倍 率 (ccまたはg)					
水	50倍	100倍	200倍	500倍	1000倍	2000倍
3L	60cc	30cc	15cc	6cc	3cc	1.5cc
5L	100cc	50cc	25cc	10cc	5cc	2.5cc
7L	140cc	70cc	35cc	14cc	7cc	3.5cc
10L	200cc	100cc	50cc	20cc	10cc	5cc

⚠ 注意 薬剤の取扱説明書を十分にお読みの上、記載されている倍率に従い、薬剤を正しく希釈してください。

2. 主要薬品適合一覧表

乳剤 (薬剤を水で薄めて使用)	水和剤 (粉末の薬を水で溶かして使用)
<ul style="list-style-type: none"> ●殺虫剤 スミチオン乳剤 マラソン乳剤 ディプテックス (DEP) 乳剤 マシン油乳剤 ダイアジノン乳剤 DMTP乳剤 PAP乳剤 ●殺菌剤 ポリオキシシン乳剤 マイシン乳剤 サプロール乳剤 石灰硫黄合剤 ●除草剤 クサノンA乳液 ラウンドアップ バスタ 	<ul style="list-style-type: none"> ●殺虫剤 オルトラン水和剤 ロプラール水和剤 モレスタン水和剤 DMTP水和剤 ●殺菌剤 ベンレート水和剤 ダイセン水和剤 ダコニール (TPN) 水和剤 ●除草剤 クサノンS水和剤 シマジン水和剤 2,4-D

ゴーゴーサン・トレファノサイドをご使用の場合



警告

ゴーゴーサン・トレファノサイド等一部の薬剤は使用方法を誤りますと、故障の原因となるばかりでなく、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。正しい使用方法を必ず守ってください。

- ① 薬剤は薬剤メーカー指定の希釈倍率の範囲内で必ずご使用ください。
- ② 使用後は速やかに水洗いをしてください。
(薬液をタンクの中に入れてそのまま放置しないでください。)
 - 水洗いはタンクの中に清水を十分に入れ、噴霧をさせ、ホース・ポンプも十分水を通して、完全に洗浄するようにしてください。
 - 水洗いは2~3回繰り返して実施してください。



注意

一部の薬剤は正しい使用方法を守った場合でもタンク等を変色させたり、変形させることがあります。機能上は問題ありません。
(万が一、少しでも異常を感じられた場合は、速やかに使用を中止し、本取扱説明書裏表紙の製品の修理受付へお問い合わせください。)

3. 薬剤は必ず調合し、よく溶かしてからタンクに入れてください。

石灰硫黄合剤及び水和剤を使用した場合、霧の状態が悪くなったり、ポンプ寿命が短くなる場合があります。
薬剤はよく溶かしてからご使用ください。



注意

薬剤は有害ですから、取扱いについては必ず薬剤メーカーの指導に従って充分注意を払ってください。体に付着した時はよく洗い流してください。



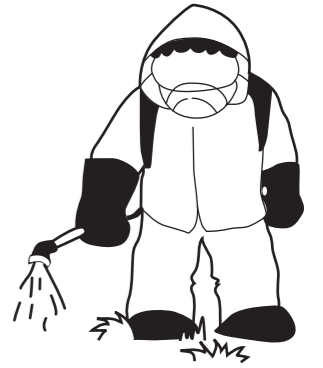
注意

水和剤、石灰硫黄合剤をご使用の場合は寿命が短くなる恐れがあります。ご使用の際はバケツ等の容器でよく溶かしてご使用ください。また、ご使用中に薬液が沈殿しないように良く攪拌してください。

4. 作業上の注意

●作業は防除用の服装で!

安全のため、農薬の付着や吸入を防ぐため、保護マスク、保護衣、頭から肩まで覆う事の出来る防水頭巾、ゴム手袋、ゴム長靴、ゴム前掛けを用意し、危険のない服装で作業してください。

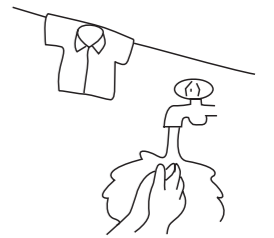


●体調のよい時だけ作業を!

少しでも体調が悪くなった時は、すぐに医師の診断を受けてください。

●周囲の安全を確認!


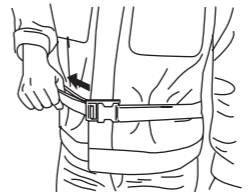


風向きや周囲の安全を確認して作業をしてください。
川・池・沼等汚染しないよう、また、人・家畜に害のないようにし、作業者の体にもぜったい薬がかからぬようにしてください。



●すべて、よく洗う!

作業が完了したら器具や着衣類をすべてよく洗い、作業者もただちに入浴するか、または手・足・顔等を石けんでよく洗い、うがいをしてください。

④ ショルダーベルトの調節

 <p>①背負う前に、図のようにショルダーベルトのバックルを上を持ち上げ下のベルトを引くと、ベルトが長くなり背負い易くなります。</p>	 <p>②タンクを背負ってからウエストベルトを装着し、長さを調節します。</p>	 <p>③ショルダーベルトの端を後ななめ方向に引くと、製品を背負ったままベルトを短くできます。</p>	 <p>④ショルダーベルトを長くする時は、バックルを持ち上げれば自然にベルトが伸びます。</p>
---	---	--	---



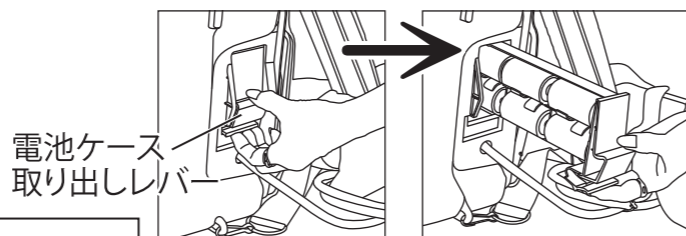
注意

急激な操作は避けてください。急にベルトが長くなり危険です。

使用方法

1 電池を入れます

電池ケース取り出しレバーを押して、電池ケースを取り出し、電池を入れてください。

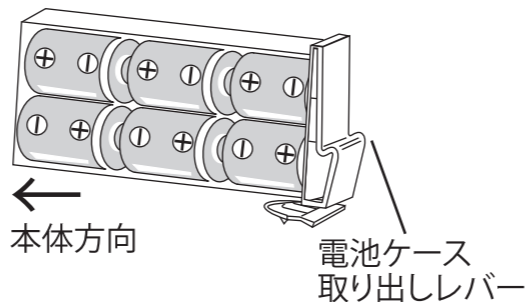


⚠ 注意

乾電池の⊕(プラス)、⊖(マイナス)は、正しく入れてください。次のような乾電池の組合せでの使用はしないでください。

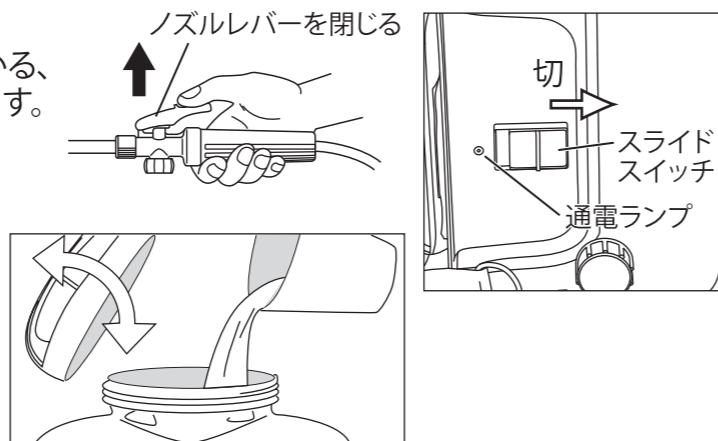
- 充電電池・アルカリ電池・マンガン電池の混用
 - メーカー違いの電池の混用
 - 新しい電池と古い電池の混用
- 使用後は必ず乾電池を抜いて保管してください。

【電池の入れ方】



2 薬液を入れる

1. 本体のスライドスイッチが「切」になっている、ノズルレバーが閉じていることを確認します。
2. タンクキャップをゆるめて、外します。
3. 希釈した薬液をタンクに入れます。液は必ずストレーナーを通してください。
4. 薬液を入れ終われば、タンクキャップをしっかりと締めてください。



⚠ 注意

ストレーナーを必ず通して、薬液をタンクに入れてください。噴口が詰まる可能性があります。ストレーナーがゴミ等で詰まっている時は掃除してください。

⚠ 注意

薬剤は必ず調合し、よく溶かしてからタンクに入れてください。水和剤のような水に溶けにくい薬品は、必ずバケツ等、別の容器でよく溶かしてからタンクに入れてください。

⚠ 注意

薬剤の取扱説明書を十分にお読みの上、記載されている倍率に従い、薬剤を正しく希釈してください。

3 電源を入れる

スライドスイッチを左にすると「入」、右にすると「切」になります。

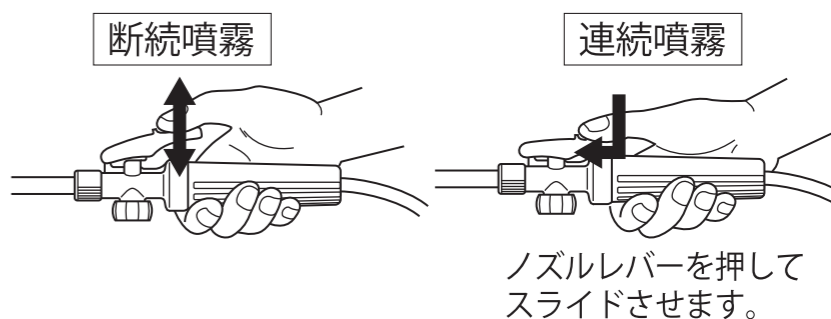
※通電中は通電ランプが点灯します。ランプが点灯しない場合は、電池容量が不足していますので新しい電池に交換してください。



使用方法

4 噴霧させる

噴霧の入切はノズルレバーの操作で行います。握りグリップのノズルレバー操作で連続噴霧・断続噴霧の調節ができます。



5 噴口の調節

噴霧の方向は、自由に調節できます。

⚠ 注意

噴口の調整はネジになっていますので、あまり緩めすぎると、液漏れまたは脱落しますので注意してください。

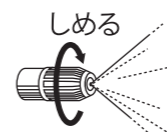
自在二頭口噴口(一頭口切替)

<霧の調整方法>

先端を回すと噴霧と直射に切り替えられます。

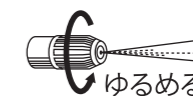
<噴霧>

広範囲に散布する時

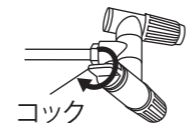


<直射>

遠くへ飛ばす時



<一頭口への切り替え方法>

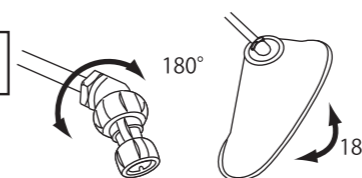


コックを締めると一頭口として使用できます。

⚠ 注意

液漏れの原因となりますので、コックを締め切った状態から1回転以上緩めないでください。

泡状除草噴口

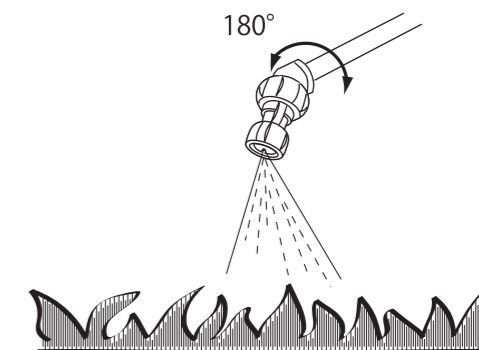


噴口が回転するので、角度を調整出来ます。左右180°の範囲で調整してください。

6 散布の仕方

ポイント

雨の降りそうな日を避けて散布します。薬剤を植物に長時間付着させることで除草効果が上がります。



⚠ 注意

噴霧中は噴口を回転させないでください。

⚠ 注意

締め込んだ状態から1回転以上させないでください。液漏れの原因となります。

使用後の注意

1. 残った薬液は草木にかけるか土中に捨ててください。

⚠ 注意

余った薬液は、河川、水源地、下水等に流入しないようにします。薬害のないように自分の圃場内で処理してください。

2. ①残った薬液を抜いてください。
 ②タンクに清水を入れ、よくすすいで水を捨ててください。
 もう一度清水を約1リットル入れてください。
 ③約1分間噴霧し、噴口～ポンプ内部に残った薬液を完全に洗い出してください。
 冬季はポンプ内に残った水が凍結し破損する恐れがあるので、洗浄後は水がなくなるまで運転し、完全に水を抜いてください。



⚠ 警告

タンク内に薬液を入れたまま保管しないでください。本機の故障の原因となるばかりでなく、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。

⚠ 注意

使用後は十分洗浄し、屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。

⚠ 注意

前の薬液が本機内に残っていると薬害を起こす危険性があります。

⚠ 注意

使用薬品を変える時は、前の液を完全に抜き取ってから新しい液を入れてください。薬液が混ざると、化学変化を起こす恐れがあり、危険です。

3. 保管

本機洗浄後は乾燥した布で水気を拭き取って乾燥させ、屋内の直射日光の当たらない場所で保管してください。

⚠ 警告

使用後は必ず電池を外して保管してください。思わぬ事故を起こす恐れがあります。

⚠ 注意

本機に水をかけて洗わないでください。故障の原因となります。

⚠ 注意

子供の手の届かない場所に保管してください。

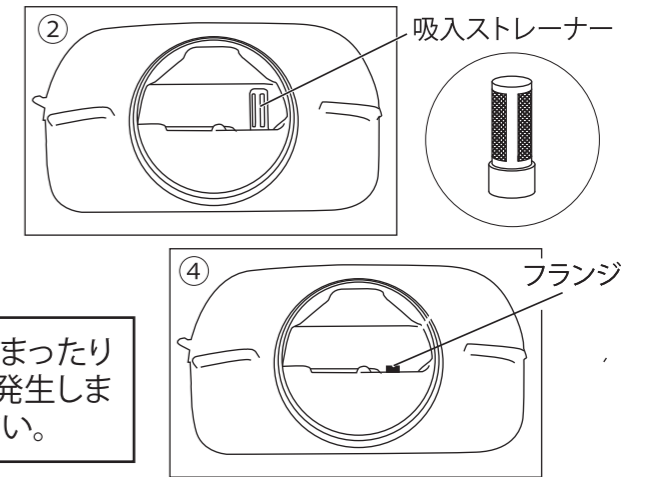
⚠ 注意

使用後は、残った薬液を排出し十分に水洗いしてください。

保守・点検

- 1 吸入ストレーナーの外し方

- ①タンクキャップとタンクストレーナーを外す。
 ②底の方に見える吸入ストレーナーを回しながら外す。(ねじ込み式になっています。)
 ③吸入ストレーナーを洗浄しゴミ等を取り除く。
 ④底の方に見えるフランジ(黒い部分)に吸入ストレーナーを回しながら取り付ける。

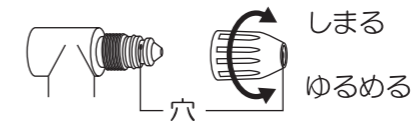


⚠ 注意

吸入ストレーナーがゴミ等でつまったりすると、吐出不良等の不具合が発生しますので、こまめに清掃してください。

2. 噴口の洗浄

霧状・直射散布



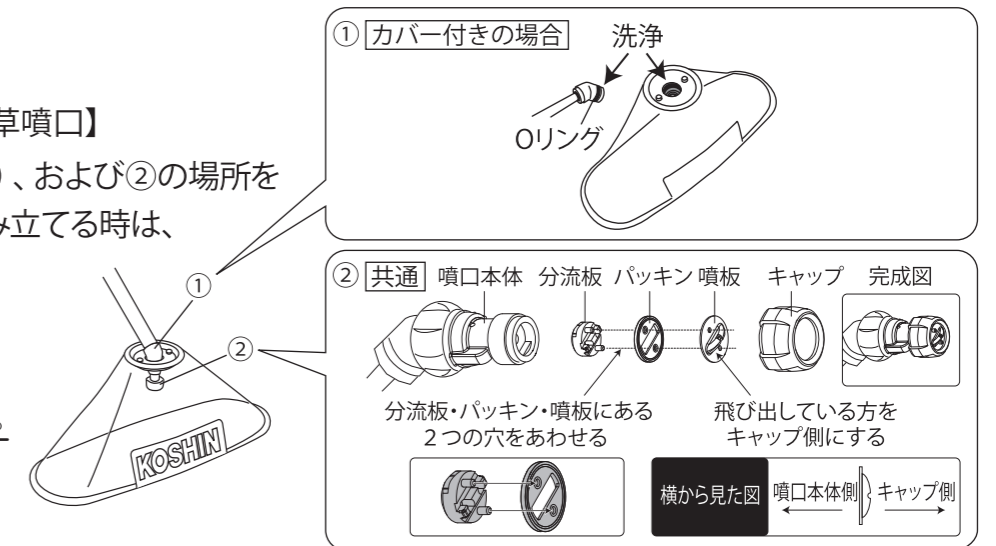
【二頭口噴口】

噴口を上図のように外し、水洗してください。

泡状散布

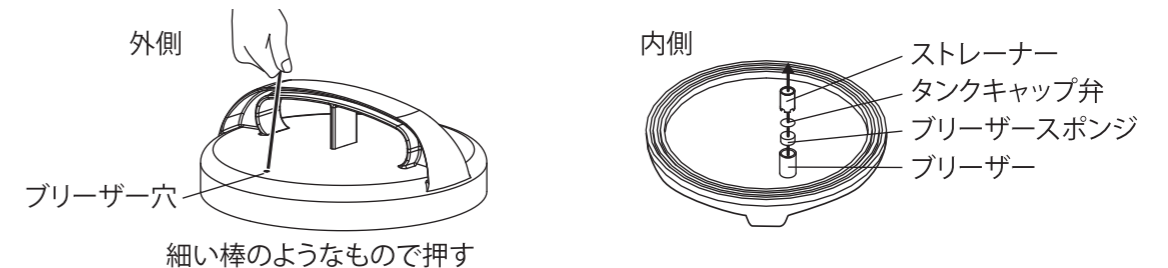
【(カバー付き)泡状除草噴口】

- ①(カバー付きの場合)、および②の場所を洗浄してください。組み立てる時は、順番と向きに注意して組み立ててください。
順番・向きが違うと
うまく噴霧できません。



- 3 ブリーザーの洗浄

- ①タンクキャップ内側のブリーザー部分、及びブリーザー穴の洗浄を行ってください。
 ②ブリーゼースポンジはキャップ内側のブリーザー穴に入り、フタの外側より細い棒のようなもので押しと外れます。スポンジはよく水洗いしてください。
 ●ブリーザーは空気抜き穴ですので、製品を横に倒したりすると液が少し漏れることがありますが故障ではありません。



⚠ 警告

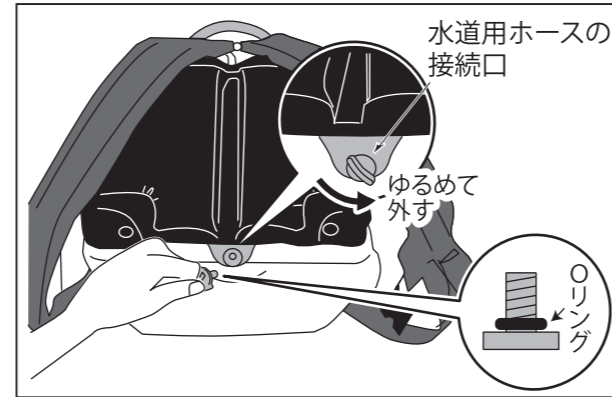
ブリーザー穴が詰まると散布時にタンクが“へこみ”破損する恐れがあります。

保守・点検

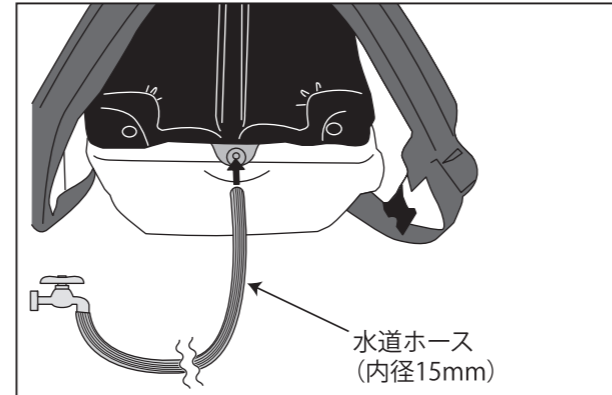
4. ポンプ固着の解消

初回使用時や長期保管後、モーター音がするのに噴霧しない場合は、次の手順でポンプ固着の解消をお願いします。製品検査時やご使用後の水が乾いた際に、まれにポンプの固着を起こす場合があります。

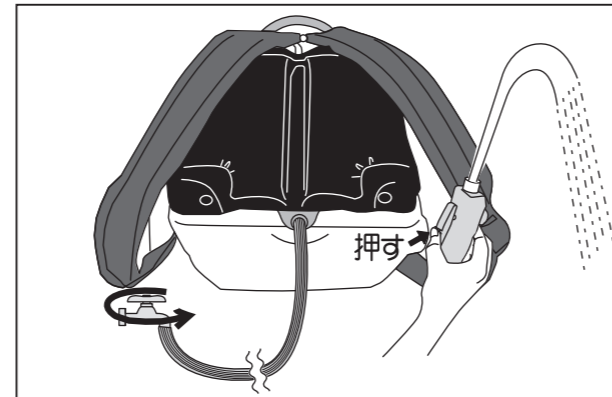
- ①電池ケースを外します。
- ②タンクに薬液・水が入っている場合、別の容器に移す等してタンクの中を空にします。
- ③製品下部の水道用ホース接続口のキャップをゆるめて外します。
※キャップの内側にはOリングがついています。Oリングが無いと中の液体がもれる原因になりますので、無くさないようにご注意ください。



- ④水道ホースは奥までしっかりと挿入してください。
水道ホースは市販の内径15mmのものを使用してください。



- ⑤握りグリップのレバーを噴霧状態にして(押し)徐々に水道水を流します。グリップの先端より水が出ますのでご注意ください。(水道水の圧力でポンプ内部に固着した薬剤を洗い流し、固着を解除します。)



⚠ 注意

急に高い水圧をかけるとホースが抜ける可能性があります。水道水を流す際は、様子を見ながら徐々に蛇口を開けるようにしてください。

- ⑥水道ホースを外したらキャップを元の通りに締め付けます。

⚠ 注意

使用後に薬剤がポンプ内に残ったまま放置されると、薬剤の成分の影響でポンプが固着する(噴霧しない)ことがあります。使用後は噴口～ポンプ内に通水し水洗いをしてください。(「使用後の注意(P.14)」を参照してください。)

⚠ 注意

キャップにはOリングが付いているか確認し、しっかり締めてください。ゆるんでいるとポンプが空気を吸って噴霧が出来ません。

パーツのご注文は

パーツは、必ず指定のものをご使用ください。

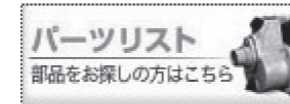
パーツは購入店または弊社製品お取扱店を通じてご注文いただけます。また、下記に記載の無いものも併せて、弊社公式Webサイトにてパーツ表、価格をご覧ください

ご注文時のお願い

部品番号(7~9桁)または機種名・JAN、名称、必要な個数を正しくお伝えください。

パーツ表・価格

- 1) <http://www.koshin-ltd.co.jp>
- 2) トップページ「パーツリスト」バナーをクリック



オプションパーツ(別売拡張部品)

名 称	機種名・JAN	備 考	
カバー付泡状除草噴口クミ (DK-10Dは標準付属)	機種名:PA-105 JAN:4971770-101869		
二段二頭口ノズルクミ (一頭口切替)	機種名:PA-170 JAN:4971770-402171		【伸縮サイズ】 最長113.5cm~ 収納時63cm
四段二頭口ノズルクミ (一頭口切替)	機種名:PA-171 JAN:4971770-402980		【伸縮サイズ】 最長201cm~ 収納時63cm

故障と処置

★：お問い合わせの多い項目

症状	考えられる原因	処置
噴霧が少ない 噴霧しない	★ポンプの固着	固着の解消 (P16.参照)
	水道用ホース接続部のキャップゆるみ	しっかりと締める (P16.参照)
	噴口、パイプ、ストレーナー等のつまり	清 掃 (P15.保守・点検参照)
	タンクキャップブリーザーのつまり	清 掃 (P15.保守・点検参照)
	電池の消耗	新しい電池に交換する
	ポンプの破損	交 換
	バイパスの異常	点検または交換
通電ランプが点灯 せず、モーターが 回転しない	スライドスイッチが「切」になっている	「入」にする
	電池の消耗	新しい電池に交換する
	電池の入れ間違い	電池を正しく入れ直す (P12.電池の入れ方参照)
	スイッチ・配線の不良	修正または交換
通電ランプが点灯 するが、モーター が回転しない	ポンプの破損	交 換
	モーターの焼損または寿命	交 換
	スイッチ・配線の不良	修正または交換
タンクがへこむ	タンクキャップブリーザーのつまり	清 掃 (P15.保守・点検参照)
液漏れ	ホースの外れ又は破れ	組付けまたは交換
	ホースバンドのゆるみ	締め付けまたは交換
	ポンプシール部の寿命または破損	交 換
	ネジ、ナットのゆるみ	増し締め
液が止まらない	ノズル本体クミのゴミつまり	清 掃
	ノズル本体クミの破損及びOリング外れ	交 換

⚠ 注意

ご自分で分解・修理は絶対にしないでください。
修理は、本取扱説明書裏表紙の製品の修理受付へお問い合わせください。